短歌班研究　　発表の仕方

（　　）組（　　）番　氏名［　　］

◇　役割分担

１　音読（音数）※破調［　　］　２　音読（リズム）［　　］

３　大意　※句切れ［　　］　４　時・場・人物　［　　］

５　表現技法　［　　］　６　着目すべき語句［　　］

７　主題　［　　］　８　はじめと終わりのあいさつ［　　］

◇　進め方　（これを参考にして、自分たちのやりやすいように発表しよう。）

一（はじめ）

「今から、○班の発表を始めます。○班は、□□□（歌人）の短歌を研究しました。」

二（音読）

「では、数えながら読みます。指を出してください。さんはい。」

※数えながら音読する。破調があれば「△句が四音で字足らずになっています。」など説明する。

「次に、リズムを意識して音読します。私のあとにつけて読んでください。」

※代表音読→→「さんはい。」→→みんなで音読

三（大意）

「この短歌の大意は、～～～～という意味です。意味が◀句で～～～。と切れているので、この短歌は◀句切れ（句切れなし）です。」

四（時・場・人物）

「この短歌は、［いつ］、［どこで］、作者が［こんなことをしている、感じている］様子を歌ったものです。［いつ］であることは、――――と書かれていることからわかります。」

五（表現技法）

「この短歌には、◎◎◎◎◎という部分に［表現技法］が使われています。」

六（着目すべき語句）

「私たちは、この短歌の着目すべき語句は……だと考えました。**この部分から、どんなことが読めると思いますか。班で考えてください。」**

→時間を１分取って、いくつかの班に発表してもらう。

→「私たちは、※※※※ということが読めると思いました。」

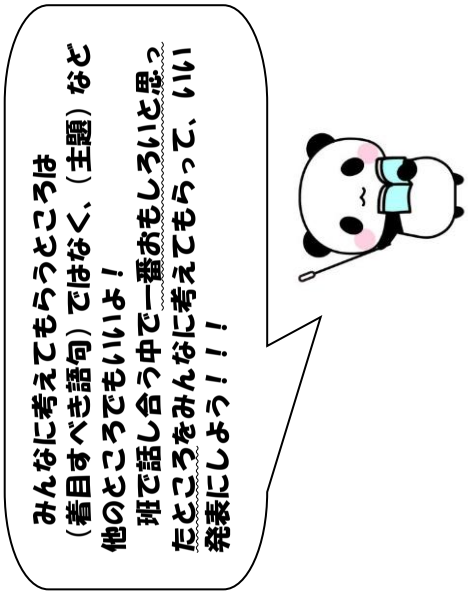
七（主題）

「私たちは、この作品の主題を☆☆☆☆と考えました。」

八（おわり）

「何か質問はありませんか。班で３０秒考えてください。」

→質問を受け付ける。

→「先生から補足をお願いします。」→補足説明

→「これで○班の発表を終わります。」